

設備工事情報シート	衛生	I-P-60-改 ₂	制定	2007年4月1日
			改訂	2019年3月1日
施工要領	架橋ポリエチレン管 (さや管ヘッダー工法)		未来工業編	

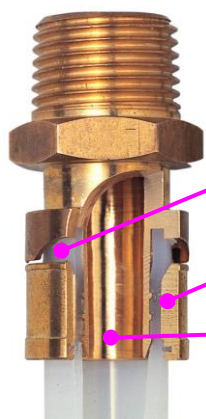
1. 目的・概要

住宅の給水および給湯配管に使用される樹脂管（架橋ポリエチレン管およびポリブテン管）の施工方法には、さや管ヘッダー工法および先分岐工法がある。その施工要領および使用部材はメーカーごとに異なるため、認識不足による不具合を防止するには、施工前に採用メーカーの接続方法を確認する必要がある。

以下に、未来工業(株)／架橋ポリエチレン管さや管ヘッダー工法の施工要領および施工のポイントを示す。

2. Wタイプ継手の特長

- (1) 専用工具を使用して樹脂管を拡径・圧入することで、狭所でも接続ができる。
- (2) 長寿命で形状記憶特性のある架橋ポリエチレン管を幅広い面積(リング)で止水している為、長期に渡り確実な止水ができる。
- (3) Wタイプ継手は、架橋ポリエチレン管専用継手である。
- (4) 架橋ポリエチレン管を拡径し接続するため、流路面積を広く確保できる。
- (5) 確認窓にて、施工中・施工後に樹脂管の差し込み確認ができる。
- (6) 狭所での施工を可能とする為、専用工具はレンチの様な回転動作を必要としない設計である。

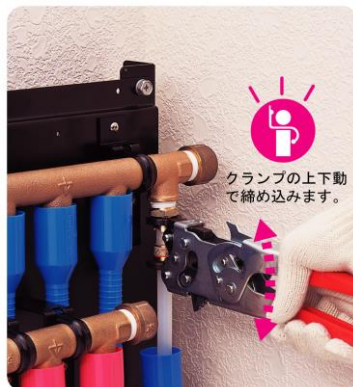


※左は、樹脂管接続済み継手の断面カット写真である。

- (5) 確認窓付き
- (2) 幅広いリング
- (4) 流路面積広い

サイズ 10 : Φ 8.5mm サイズ 13 : Φ 11.5mm
 サイズ 16 : Φ 15.2mm サイズ 20 : Φ 19.5mm

【狭所でも接続作業が容易】

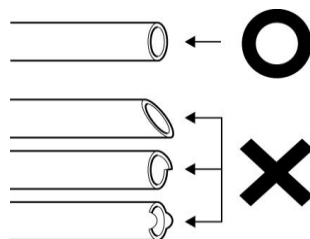


【目視確認窓付き】



3. Wタイプ継手の接続方法

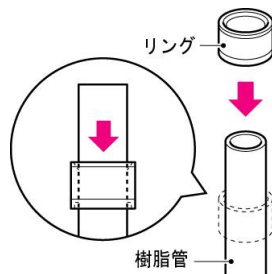
(1) 樹脂管の切断



樹脂管を専用カッターで直角に切断する。

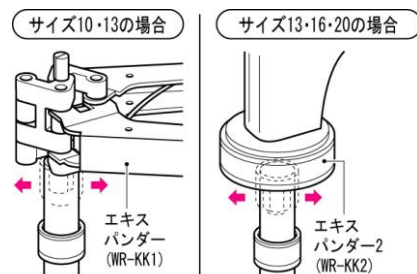


(2) リング取り付け



リングには方向性があるので注意が必要である。
 リングズレ落ち防止機能によりリングはズレ落ちない。

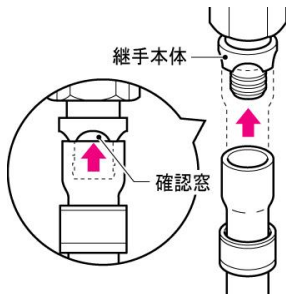
(3) 樹脂管の拡径



専用工具で樹脂管を拡径する。

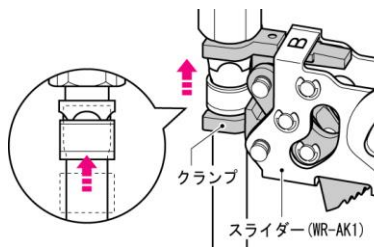
資 料

(4) 管の挿入



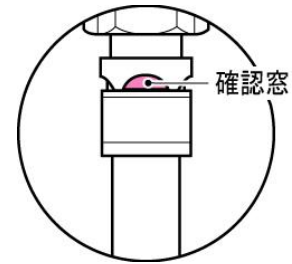
樹脂管の管端を確認窓の中程まで挿入する。

(5) リングの圧入



専用工具でリングを圧入。
リングが継手本体に当たれば圧入完了。

(6) 接続の確認



リング圧入後、樹脂管が確認窓から見える事を確認する。

4. さや管ヘッダー工法用部材（抜粋）



サヤフレキ2（さや管）



ミラペックス（架橋ポリエチレン管）



水栓ジョイントボックス



水栓アダプター（おねじ）



連铸アダプターヘッダー



さや管用サドル

5. 水圧試験

- (1) 0.94~1.04MPaに加圧し、10分間放置。
- (2) 0.74MPaに降圧し、60分間保持する。
- (3) 60分後、0.44MPa以上：合格、0.44MPa未満：不合格。

6. 技術講習会の開催および講習修了証の発行

継手接続方法の詳細およびその他施工方法は、メーカー発行の施工マニュアルを参照する。

また、未来工業(株)では、技術講習会を実施し講習修了証を発行している。

申し込みは、下記問い合わせ先又は全国28営業所へ連絡し、講習会の開催日時／開催場所を決定する。

7. 問い合わせ先

未来工業(株)

TEL

FAX

・ 本社営業課

0584-68-0028

0584-69-5602

岐阜県大垣市外輪之内町楡又1695-1

・ 本社営業企画課

0584-68-0008

0584-69-4282

岐阜県大垣市外輪之内町楡又1695-1

※全国28ヶ所に営業拠点あり（各連絡先はホームページを参照）

<http://www.mirai.co.jp/>